

シリーズ ⑥2

我が家の家庭教育

尾垂六区 磯貝 美智子

我が家の家庭教育というところで、私の家に教育という程のものがあるのか自信はありません。

すなおで明るい子供に、自立心のある子供に、思いやりのある子供になってほしいと親の願いはつきません。

昔から、子は親の背を見て育つと言われます。家庭での教育は子供にとって親が手本なのだと思いますが、けんかばかりしているので口うるさい母親になってしまいました。

何が原因かという、たいたとか、けとばしたとか、母親の私から見ればたいした事ではないのですが、子供にとってはけんかになってしまっているのです。よく子供のものさしではかれと言いますが、ついにはかりきれなく、うるさいの一言から、また泣かしているのと

子は親の背を見て育つ

う事を、考えながらしてきたつもりですが、うまくいきません。自分の事は自分でするようにし私自身、人あまりたよる事が好きではありません。

つけてしまうのです。これではいけないと思いつつ、その場限りのものにしてしまい、私自身もつと広い心で、子供達を見つめていきたいのです

そういう親の姿を見ています。又、子供達がお手伝いしてくれると、有りがとうとすなおな気持ちで言います。ですから、子供達からも

有りがとうの言葉は、すなおに私に返ってくるのです。そういう子供達の気持ちは、大切にあげてきましたが、



磯貝さんご一家

家庭教育にしても、学校教育にしても、子供達の教育問題は、はかり知れないものだと私自身感じています。私にとって大事な子供達、家庭での教育は、しっかりとしたいと思ひ頑張っております。又、子供と共に親も、毎日が勉強なのではないのかと考えています。自分自身の勉強の場をいろいろな所で持ち、それが子供達への教育につながるのであればと、子供の親として、一生懸命努力していきたいと思っております。



児童・生徒

作品コーナー

今月の児童・生徒の作品コーナーは、南条小学校児童の作品をご紹介します。



うさぎ



1年 加瀬直美さん

うさぎのおべんきょうでうさぎにえさをあげました。はじめてでした。とてもかわいかったです。

いつになってもけんかは絶えません。

チューリップ



2年 山崎さとさん

わたしたちがうえた、チューリップがたくさんさきました。とてもきれいで、うれしかったです。